



20070318 京エコロジーセンター  
活動支援事業報告会

地域の中の大学植物園  
～大学植物園を活用した  
環境教育連続市民講座～

京大植物園を考える会

発表者 坂本三和(京大農学研究科大学院生)

# 京大植物園 (京都市左京区)

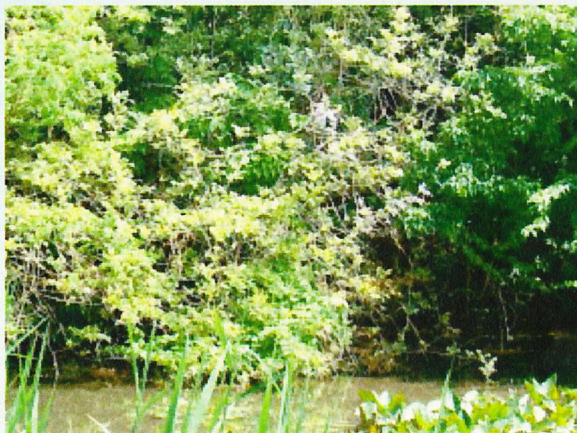
京都大学理学研究科附属植物園

1925年創立

生態植物園

研究・教育・憩いの場

都市の中の身近な自然



# 京大植物園を考える会

2003年4月設立

教職員・学生、近隣住民有志により構成

京大植物園の

存在価値を広める

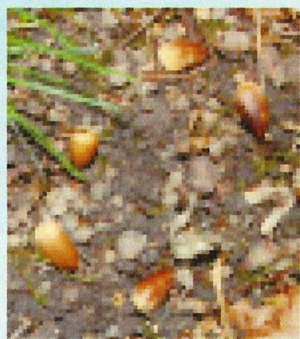
活用方法や将来像を考える



観察会の運営  
シンポジウムの開催  
情報・意見の集約

# 自然観察会(月1回)

研究者・大学院生による解説



どんぐり



シダ類



きのこ



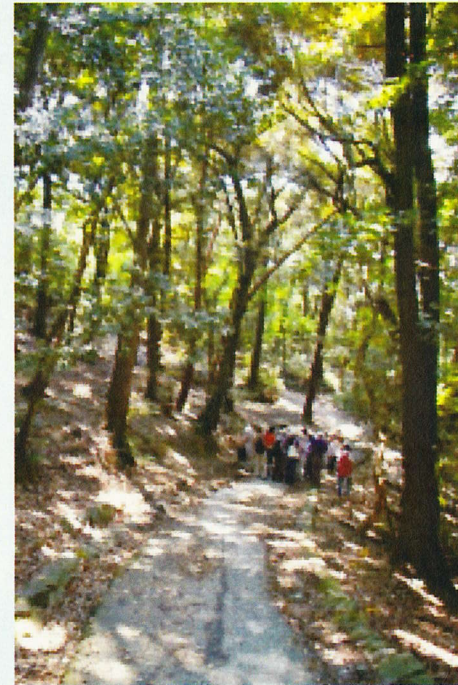
植物、きのこ  
「植物園と吉田山」  
地形と活断層  
「森で語ろう」

参加者 平均40人  
学外(一般市民)7割  
学内(学生・教職員)3割

# 参加者間の意見交換

## 「植物園と吉田山」

- ・過去の吉田山の様子
- ・里山管理のあり方について



## 「森で語ろう」

- ・京大植物園の好きな所
- ・観察会の感想、要望
- ・植物園の将来像



# シンポジウム「植物採集と植物園」 ～生きている標本の存在意義を考える～

京大学園祭 「植物園まつり」(2006年11月)

植物園自然観察会

京大博物館・標本庫見学

懇談会「植物採集と植物園」



参加者 約60人  
学外7割

<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>

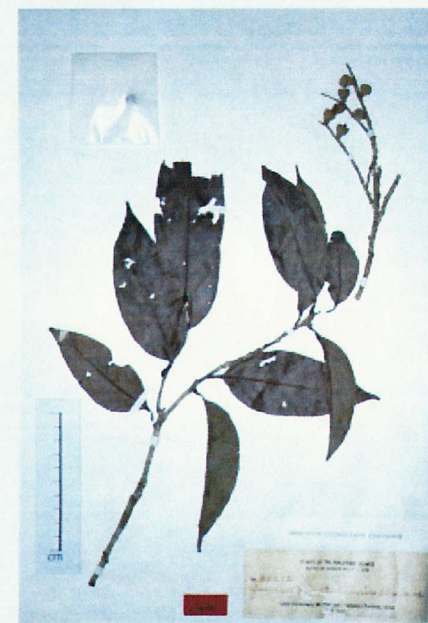
# 懇談会「植物採集と植物園」 ～標本って何だろう～

**講師** 村田源氏(元京大理学部植物学教室)  
河野昭一氏(前京大博物館館長)

**植物標本の役割**  
**植物園 生きた標本の宝庫**

**コメント** 中務哲郎氏(京大文学研究科)

**ギリシア文学の翻訳 植物名**  
**京大植物園で現物を確認**



<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>

# 参加者の感想

(毎回終了後に記入)

今まで知らなかった世界に気づかされた

植物園に入れてよかった

わかりやすい説明でよかった

人数が多すぎて説明が聞こえなかった

樹木の名札を見やすくしてほしい

